

[概要]

飲食店は商業地を形成する主要な産業の一つであり、夜間の消費活動や滞在行動を支える重要な機能も担っている。本研究では、石川県金沢市を対象として、飲食店の夜間の営業時間データを用いて、時間帯ごとの営業する店舗の分布や種類を分析することで、夜間における商業地の特性を明らかにすることを目的とした。どの地域にも共通していたことは、18時時点では、居酒屋、和食に偏っていたものの、どの飲食のジャンルも幅広く営業していた。香林坊・片町では、夜間において歓楽街としての特性が最も表れており、深夜にバー・バル・ダイニングバーをはじめとした酒類を提供し、娯楽性の高い飲食店が特定の地域に狭く分布するようになる。特定のエリアに集積する。金沢駅では深夜の営業が確認されたが分布が分散していた。また、21時から24時までに店舗の多くが営業を終了しており、交通に連動するように閉店していた。武蔵、東山は夜間に営業している店舗が少なかった。

キーワード：飲食店，夜，営業時間，商業地，金沢市